

課題改善カリキュラム【図画工作・技術・美術科】

練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題		研究テーマ		
小中において、鑑賞授業の実践に差があった。		感じ取るよろこび、つながる楽しさ ～鑑賞活動を通して～		
学習期	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点	
中学校	3年	<ul style="list-style-type: none"> ・図版や図録、ビデオ、コンピューターなど映像を使い、効果的に鑑賞指導を進め、作品に対する自分の見方や感じ方を記述し、お互いに発表させる。 ・作品や自然の教材等、なるべく実物かそれに近いものを提示し、生活を美しく豊かにする美術・技術の働きについて考えさせ、社会生活の中で役立っているデザイン等、確認していく。 ・日本や諸外国の美術、文化、遺産等、概括的な変遷を学び、自国と他国の文化、それぞれの良さや美しさをまとめて、お互いの考えを発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工芸・美術作品やお互いの作品を通して、よさや美しさを感じ取り、自分の考えをもって批評し合えるようにする。 ・自然や身近な環境の中に、造形的な美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術・技術の働きについて理解できるようにする。 ・日本及び諸外国の美術・技術や文化の相違と共通性に気付き、国際理解を深め、文化の継承と創造への関心を高める。 	
	2年		<ul style="list-style-type: none"> ・自然の造形や伝統工芸・美術作品、また、文化遺産などについての理解や見方を深め、自分の価値意識を持って批評し合いながら、美意識を高め幅広く味わうことができる。 ・自然や身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から、生活を美しく豊かにする美術・技術の働きについて理解する。 ・日本の美術や文化の特質を学び、日本に対する理解と愛情を深め諸外国との相違に気付き、工芸や美術文化の継承と創造へ関心を高める。 	
	1年		<ul style="list-style-type: none"> ・自然の造形や美術・工芸作品、また、文化遺産などについての理解や見方を深め、自分の価値意識を持って批評し合いながら、美意識を高め幅広く味わうことができる。 ・日本及び諸外国の美術文化に対する関心を高め、良さや美しさを味わうことができる。 	
小学校	6年	<ul style="list-style-type: none"> ・対象に親しみをもち理解を深めたり高め合ったりするために、鑑賞活動に友だちとの交流を加え、それぞれのイメージの違いやおもしろさを発見したり味わったりする。 ・自分たちで鑑賞するカードを作ることから行い、作者の意図と観る側の感じ方の違いの面白さも味わわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かな雰囲気をつくり、思ったことを発言しやすいようにする。 ・ワークシートを活用し、自分の感覚や考えの深まりに気付くようにする。 	
	5年		<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や諸外国の親しみのある美術作品を鑑賞して、よさや美しさを感じ取ることができる。 ・感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえることができる。 	
	4年		<ul style="list-style-type: none"> ・互いの感じ方を伝え合い、感じ方の違いを楽しむ経験を多くさせる。 ・形や色は様々なイメージをもっていることに気付かせる。 	
	3年		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの考えを尊重し合い、お互いの意見を共有できるようにさせる。 	
	2年		<ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの作品を見て感じたことを話したり書いたりする機会をつくる。 	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの身の回りの作品や材料などを楽しく見たり、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に名前を付けたり、発見、感動したことを書くことで意識させるためのカードを作ったりし、機会を見つけて自己評価をさせる。 ・互いの工夫などを話し合ったり発表したりする場を作る。 		